

北大阪 商工組合 ニュース

2019年4月/第342号

URL <http://kita-osaka.co.jp/kumiai/>
E-mail kitashoko@leaf.ocn.ne.jp



3/9 商工組合主催

「クラウド活用セミナー」を開催しました

クラウドで何ができる!?
コストダウン・業務改善のきっかけづくり



理解しているようで今ひとつ理解できていない「クラウド」。しかしそれは、すでに私たちの生活に溶け込み、知らず知らずのうちに利用しています。GoogleやYahoo!のフリーメール(Gメール・Yahoo!メール)は、分かりやすい具体例です。クラウドとは何なのか?を一から学び、テレビ会議の実践などを通じてクラウドを身近に感じていただき、今後うまく活用していくきっかけになればと、セミナーを開催しました。

この諸刃の剣のような道具と どのように付き合っていくのか

新入社員だった頃、文書はワープロで作成し、フロッピーディスクに保存していました。長年、手書きで書類を作り、紐で綴じて保管してきた年配の社員の方たちは、「もう

で、楽しく学ぶことができました。情報を見極める力があれば、インターネットを通して既存のマスメディアでは扱われない有益な情報を得ることができそうですが、その反面、巨大テクノロジー産業による個人情報や蓄積された個人情報、市民の監視に利用されているのではないかと

事前に講座内容の 文書がいただけると良かった

う問題も出てきています。よつ葉でもWeb会員が増加してきているので、パソコンやタブレットの使い方を覚えておく必要があるのでしょうか。この諸刃の剣のような道具とどのように付き合っていくのか思案しているところで

の提案があるのか、大変期待を持って臨みました。案内のFAX以降、研修当日までかなりの日数があるので、準備を含めて事前に講座内容の文書がいただけるとよかったです。もちろん受講者もそれぞれですので、配布したからといって円滑に研修が進むとも限りませんが、少なくとも4時間という貴重な時間を共有するならば、最低限のラインを揃えるためにも必要なことだと思えます。グループ内のつながりの確かさは研修中にも実感しましたが、それに甘えることなく、部外者が入っても成果を得られるような研修を期待します。

講師から①

まずは使ってみて体験して考える

皆さんが知らず知らずのうちに使っているクラウドについて、一体何でどんな時に活用できるのかを、タブレットを使って体験していただきました。ソフトを買わなくても、GoogleからExcelと同じ機能が無料で使える。USBを使わなくても、クラウドへデータを乗せれば、いつでもどこでも開くことができます。電話やFAXで確認せずとも、離れた場所と同じ表を見ながら同時にその表を編集し、またテレビ会議ができる。今までできないと思っていたことが簡単にできてしまう

クラウドは、固定概念を覆します。まずは使ってみて体験して考える。その連続により、できなかったことが実現できるのかもしれない。参加いただいた方はその一歩を踏み出したのではないのでしょうか。実際に使ってみると意外に簡単! そんなことばかりです。今日3月12日は、ワールドワイドウェブが誕生して30年目の日。たった30年間にこれほどまでに変わったWebの世界が、これから先何を叶えてくれるのか、学びは尽きないと思います。

今回のタブレット研修では、パソコンやタブレットを使って会議ができる「ZOOM(ズーム)」というアプリを使用し、実際に参加者がよつ葉ビルの4階と5階に分かれてテレビ会議を体験しました。テレビ会議をしたことがない参加者も多かったですが、実際にテレビ会議をやってみると自分でもできそうだなあという感想をいただきました。

はさまざま意見があります。同じ場所でも顔を向き合わせて会議をすることも大事だとは思いますが、テレビ会議で済ませることができれば、時間などの無駄をなくすことができ、その分、会議の議論を深めることや別のことに時間を使うことができるようになります。また、テレビ会議だけではなく講演会や勉強会にも使えるので、会場へ移動することなく参加することができ参加者の負担を減らすことができます。

《共同利用・相互協力をつよめよう》 《買う人が売る人に、売る人が買う人に》 《販売ルート相互紹介で事業の拡大を》

自然の味をそのままテーブルへ
国内産小麦パン

(有)パラダイス&ランチ

〒569-0825 大阪府高槻市栄町2-10-3
☎072-695-1300

安心して
暮らせる
世の中に!!

西京都共同購入会
075-331-6715

人と人々を分断し、
監視社会を強化する

反対します!!

テロ等準備罪(共謀罪)

北摂・高槻生活協同組合
高槻市大字原1304-1
☎072-688-4878 ☎072-688-4871

よつば農産新代表「あいさつ」

さらに進んだ生産者との協力関係を築いていきたい

2月9日、弊社よつば農産代表取締役の深谷真己氏が急逝致しました。あらためて、生前深く親交いただいた皆さまには心から御礼申し上げます。後任として、私こと横井が代表取締役に就任致しましたことをご報告させていただきます。

深谷さんは、よつば農産を立ち上げた当初からのメンバーで、長きにわたり全国の生産者と交流を深め、よつばの活動を支えてきた一人でした。よつば農産にとって大きな柱を失っただけでなく、北大阪商工組合や関西よつ葉連

絡会、そして全国の生産者からも多くの惜しむ声が届いています。大切な仲間を失った喪失感には日に増すばかりですが、深谷さんと一緒に取り組みははずだった、よつば農産の今期の課題を職員一丸となつて進めたいと思います。今期の課題として、まず20年を経過した地場野菜の取り組みでは、農村の変化や農業を取り巻く状況の変化に対応するため、さらに進んだ農家との協力関係を築くことが重要だと考えています。そのため、摂丹百姓つなぎの会にも協力してもらい、今まで



▲横井さん

以上に畑に足を運んで、積極的に農家と交流を持ちたいと思っています。次に、世代交代が進みつつある全国の各産地との関係も同様です。親世代から引き継いだ後継世代とは、物のやり取りだけでなく、人としての関わりを新たに深めていかなければいけないと感じています。

今年はいそがしを中心課題とし、農村と地域農業から必要とされる存在になるようさらに踏んばらなければならぬ、そんな一年だと感じています。(横井隆之)

3・11から8年 原発いらない!

大阪 「さよなら原発 関西アクシオン」 デモ



▲熱くマイクを握る児嶋さん

エルおおさかにて行われた「さよなら原発2019関西アクシオン」の集会後のデモに初参加させていただきました。脱原発をよつ葉として掲げながら、市民運動の代表とされるデモに今まで参加できなかったというモヤモヤ感から一転、当日はいい意味での緊張感のなか、自分自身、挑戦の気持ちで参加し、さまざまな体験をさせていただきました。脱原発、再稼働やめろの旗

を掲げながら集われた方は多数。その熱気と気迫を感じながらスタートし、皆と一緒に声をあげ続けました。沿道からの冷たい視線と温かい視線を同時に浴びながら、途中マイクを握らせてもらい道中を歩くなか、皆に届けと言わんばかりの感情が芽生えは

3/9 滋賀 「びわこ集会」 7回目の

はじめ、気付けば熱い気持ちになっていました。表現の自由という権利が自分たちには存在し、また政府や権力に立ち向かうための一

事故から8年、滋賀では7回目の「びわこ集会」が開催され出店参加しました。福井地裁で大阪原発の運転差し止め判決を下した元裁判官の樋口英明さんが講演、基調報告は井戸謙一弁護士。参加者それぞれ挨拶、訴え、アピールがありました。快晴の下、関電前を通ってデモ行進しました。

【リレーコラム】政治と暮らし

それにしても「維新」である。彼らが狙ったとおり、大阪府知事・大阪市長のダブル選挙で「維新」は大勝した。その結果、大阪府・市民は今後しばらく「都構想」なるものに巻き込まれることになった。それも「自ら望んで」、とは言い過ぎか。人々は「都構想」や「維新」に何を期待し、希望を見いだしているのだろうか？ 言うまでもなく多くの隣人であり、おそらく友人である。その隣人・友人たちの怒りや絶望、そして喜びと希望をよく理解しなければ、私たちは「維新」と安倍サンに良いようにやられ続ける。でも今回は、浅はかで暴論かもしれないが、ちょっと見方を変えて考えてみる。

「都構想」が実現したらチャンスとツメを研ぐぐらいのしたたかさがあっても良いのでは

理解すれば、それは住民にとって有利な側面もあるのではないかと、いうことである。わが尊敬する先輩は、「政治の単位は、住民から遠く、大きな単位は、アカンのや」と言っている。大阪府を特別区に分割するというのは、逆に住民に近く、小さく、逆にならざるを得ない。少なくとも上っ面的には、もちろん、彼らの狙いはそんなところはないことぐらいは、僕にも想像はつく。だから、私たちは「都構想」に反対し続けるのが良いとは思われない。しかし、「都構想」が意に反して実現した折には、われわれは密かにほくそ笑み、チャンスが来たことを研ぐぐらいのしたたかさがあっても良い。何しろ、これまでの大阪府にはいわず「市民派」と呼ぶことのできる市議員は1人もいなかったのだから。

3/10 京都

「バイバイ原発 ききょうと」

つこの手段としてこういう形の表現方法があるんだと、改めて認識し経験させてもらえた一日でした。(阪神産直センター 児嶋宏紀)

今年もいろいろ考える一日になりました。朝から雨が降る寒空の下、京都の円山公園に集まりました。福島原発事故から8年がたち、年々参加人数は少なくなってきたと言います。けれど、人数は

それは保養キャンプの子どもたちの顔を思い出し、彼女たちの不安な思い、親御さんのつらさを思うことでもありません。忘れず、あきらめず、声をあげ続けます。(よつ葉ホームデリバリー京滋 村上美和子)

私がお原産を止めたいという思いを強く持ち続けること、少なうても熱い思いはたくさんあるように思います。原発は危険で、今すぐにでも廃炉にするべきなのに、再稼働が強行されています。たしかに思い出したいくないかもしれないが、絶対に忘れてはいけない出来事だと思えます。デモのシュプレヒコールのなかに『お金より命』という言葉がありました。政府や電力会社は、『命よりお金』



▲プラカードを手に訴える中尾さん(左)

なんだなあと感じます。またデモの最中、歩道にはたくさんの方がいるが、無関心な人が多いように感じました。けれど何かキッカケがあれば、原発反対の声は大きくなっていくのではないかなあと思えます。自分も粘り強く反対の声をあげ続けたいです。(能勢食肉センター 中尾清二)

《共同利用・相互協力をつよめよう》 《買う人が売る人に、売る人が買う人に》 《販売ルート相互紹介で事業の拡大を》

地域の人と人の つながいを大切に

関西よつ葉連絡会

(有)近江産地直送センター

【配達エリア】滋賀県東部・北部

滋賀県彦根市川瀬馬場町1268-4

☎0749-28-7603 FAX 0749-28-7605

原産に頼らない社会を!

誰もが笑顔で暮らせる世の中に!!

生活協同組合

兵庫いきいきコープ

〒651-1411 兵庫県西宮市山口町名来2-5-11

☎078-903-6522 FAX 078-903-6533

競争ではなく 共存の道を

(株)能勢農場

大阪府豊能郡能勢町山辺173-2

☎(072) 734-1797

FAX (072) 734-1860

3/2 よつ葉クリンサー 第16期社員総会

当分は今の体制で 踏ん張る

総株数132口のうち、参加株数36口、委任状64口、合計100口、参加人数は職員合わせて13名でした。報告した事業内容は、売上・会員数ともに第15期とさほど変わらない結果となりました。約18年働いていた職員の退

職により議案書の事業計画は大幅に変更となり、大変ご迷惑をおかけしました。ここ3年くらいは人の問題もなく順調だったのですが、ここに来て退職者を出してしまい募

集しても応募がなく、現職員でフォローしています。総会の議論もその点への質問が多く、正社員にこだわらず、アルバイト募集に切り替えていくのも良いのではないかと

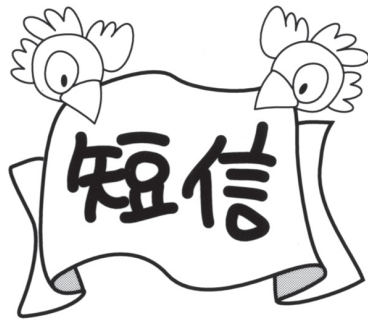
などの意見をいただきました。当分は今の体制で踏ん張っていきますが、柔軟に現状を捉えてがんばっていく所存です。(中谷力也)

3/15 よつ葉クリンサー 第19期株主総会

新たな居場所づくりに多くの人が

19期は中期構想として提案した「新たな配送センター」のあり方と向き合う一年となりました。いわゆる「労働基準法」の中で、よつ葉の「協同する」という理念の追求は、人材不足もあり、困難の中の取り組みとなり、思うような産直活動ができない場面も多々ありましたが、新たな場

所作りのためと、優先的に取り組んできたことを報告しました。しかし、それはあくまでも枠組み作りであって、本題はここからです。「共にはたらき、共に学ぶ」を大切に、多様な人が集まり、汗を流す場所作りに励みます。今年で京滋センターも設立より20年を迎えます。ここか



総会では、利用しやすいカタログ作りや移動販売のこれからについて意見をいただきました。移動販売については、大手コンビニやスーパーなどが参入してきているのに、よつ葉の中ではまだ取り組むところがでてきていません。これからどうやってよつ葉の活動のひとつとして位置づけていくのか、始めるにあたっての課題は何か。各所と連携しながら継続していけるよう



▲光久さん

3/15 川西産直センター 第39期株主総会

県議選と会員拡大を 最大目標に

昨年の7月に代表を交代して、すぐに選挙に向けて動き出しました。日々の仕事もわからないままに周りに支えられ、教えてもらいながらなんとかやってきました。

祝 北上あきひとさん当選!

4月7日に投票が行われました兵庫県会議員選挙で、北上あきひとさんが18118票を集め、見事初当選されました。これからも共にがんばりましょう!

総会では、利用しやすいカタログ作りや移動販売のこれからについて意見をいただきました。移動販売については、大手コンビニやスーパーなどが参入してきているのに、よつ葉の中ではまだ取り組むところがでてきていません。これからどうやってよつ葉の活動のひとつとして位置づけていくのか、始めるにあたっての課題は何か。各所と連携しながら継続していけるよう

取り組んでいきたいと思えます。そして4月7日には県議会選挙があります。また選挙という感じにはなりますが、今年には北上さんを県会へ送り出すことと、拡大に取り組むことを最大の目標として報告させていただきました。配達だけに留まることなく、私たちの暮らしの課題に

対して、身近な議員や会員さんなど力を合わせて、協同できる人たちとつながり、産直としてできることをしっかりとやっていく。その一歩として今年の目標に対してがんばっていきます。(武井雅和)



人間の身体は食べたものでできている



▲新矢店長

昨年度の成果として大幅な売り上げ増の報告がありました。この売り上げ増は、広告宣伝の改革、早割、感謝セールなどの割引企画の実施によるものでした。しかし、この大幅な仕事量の増加は、当社の問題点を浮かび上がらせるものでもありました。疲労を遠因とした骨折事故、長距離移動による腰

新たなスタッフを迎え入れる準備を

3/30 よつ葉クリンサー ビス 第11期株主総会

痛の発症など、仕事量の増加に対応できない当社の基礎体力そのものが問われました。また、こうした基礎体力の問題は、事業の幅をも狭めていきます。例えば風呂掃除は、塩素系の薬剤を使用せずクエン酸などの環境、人体に負荷を与えないものを用います。その場合、作業は体力勝負のものとなります。こうした作業は特定のスタッフに集中していくようになりました。上記のような問題に対応していくために、今年度は割引企画などを抑制しながら新たなスタッフを迎え入れる準備を進めます。(野原康範)

がいらつしゃるとは言うものの、賑わいのほとんどが馴染のお客さまで、地域にしっかりと溶け込んでいます。また、地元の幼稚園に毎日食材を納品。今後は、園児のお母さんたちとつながりを作り、自然食品の良さを広めていきたい、と新矢さん。その新矢さんと自然食品との出会いは約10年前。突然原因の分からない全身の痒みに襲われ、数か月悩んだ末に半日断食を執行。その時、空腹を紛らわすために『自然館水無瀬店』で柿茶を購入したのがきっかけだそうです。すると散々悩まされた症状が10

大阪と京都の間点、高槻市に『自然館グリーンプラザ店』を訪ねました。『自然館』の看板通り、みずみずしい有機野菜が入口に並び、別院食品の豆腐、能勢の生肉、無添加の調味料、子どもに安全なお菓子、自然派化粧品：新矢章博店長「自慢の品々が、ところせましと並んでいます。少し前にJRの出口付近にできた『自然食品を謳う店』の影響か、最近顔を見ない方

日ほどで改善。「人間の身体は食べたものでできている」。それを実感し、西洋医学に疑問を持ち：今に至ることです。自らの体験と学んだ知識、そして強い想いを持ち、自然館の店長さんとして充実した毎日をご過ごされていますが、悩みの種はなかなか取れないお休みだとか。ですが、ご自身にもお子さんにも「家族と過ごす時間は、健康な心身を作る大切な材料」です！お忙しいお店ですが、元気をしっかりと確保して、さらに『自然館』を盛り上げてくたさい！(事務局 山田恵麻)

【自然館グリーンプラザ店】高槻市紺屋町1-1 グリーンプラザ1号館B1 TEL072-6881-13332 定休日 第2・第3水曜日 ※ビル休館日に連動します

《共同利用・相互協力をつよめよう》 《買う人が売る人に、売る人が買う人に》 《販売ルートの相互紹介で事業の拡大を》

Culture & Communication 封筒・伝票からパッケージ・美術印刷 国際印刷出版研究所 大阪市大正区三軒家東3-11-34 TEL 06-6551-6854 FAX 06-6551-1259

安心・安全を お届けします 奈良産地直送センター 奈良市佐保台西町62 TEL (0742) 70-4800 調替わりの ミニマル やっています ふるさと広場 高の原店 京都府相楽郡木津町兜台6-8-6 TEL (0774) 73-0551 美味しい食事と あたたかい笑顔の 第二の我が家

充填豆腐はつくりません 大豆生産者と共に つくるお豆腐です 別院食品 亀岡市東別院町鎌倉中垣内6-1 TEL 0771-27-7400 FAX 0771-27-7401

高槻

「きららら浦堂」～中高年高齢者の居場所作り、仲間作り、仕事作り

ますます元気体操に行きた
いけど…と要支援1のKさ
ん。足が悪いので体操の集ま
りに出られませんか。話相手
がなくて寂しくてたまらんと
Iさん。毎日、図書館通いを
していますが、図書館ではお
しゃべりができません。そん
な困りごとが少しずつ生活に
増えてきている軽度支援の必
要な方、ぜひお越しください。
きららら浦堂では、緩和型テ
イサービスの機能訓練やりハ
ビリはもちろん、料理、パソ
コン、ヨガ、ハーモニカ、自
分史教室などのさまざまなプ
ログラムを用意しています。
送迎も致します。訪問看護や



▲和菓子作り

訪問介護のスタッフも地域の
ご要望に応えます。
(山向由紀)

3/10 アットホーム 防災ワークショップ

家族のように 助け合って 生き延びたい



▲前列真ん中が吉本さん

昨年は、大阪北部地震や台
風21号など、大規模な災害
に見舞われた年だった。アッ
トホームの各事業所でも被害
や混乱があり、対策やネット
ワークを考える必要が生まれ
た。3月10日、防災マニユ
アル・計画作成と社内交流を
目的に、防災ワークショップ
を開催した。ホワイトボー
ドミーティング®(ホワイト
ボードに意見やアイデアを集
め、参加者の力が活かされる
効率的・効果的な会議の進め

謹告

当ニュースの創刊は35年前。以来今回で342号になり
ます。総会では内容の問題や今後の方向性に対する意見を
いただき、理事会で検討した結果、編集委員を刷新し隔月
発行も視野に入れ、中身の充実を図ることとなりました。
その準備のため、一時的に休刊をいたします。が、今後も
変わらず、多くの皆さまのご支援をいただければ幸いです。

北大阪商工協同組合

方)を普及させている(株)ひと
まの奥西さんと防災士の畑
中さんにファシリテーターを
お願いして、各事業所の管理
者や防災担当者17名が集ま
り、活発な話し合いを行った。
畑中さんからのレクチャー
では、被災後24時間、48時間
72時間を想像して、どのよう
な行動を取っているか考え、
話し合う時間を作った。また、
危機が迫っていても「自分は
大丈夫なはずだ」と思いこむ
正常性バイアスが、迅速な対
処行動を遅らせることを学ん
だ。
定例進捗会議では、同じ会
社で働きのながら、普段顔を
合わせることもないスタッフ
同士の近況が交換され、ここ
の部署も多忙で幅広い業務を
こなしており、時間の捻出に
苦労している現状が浮かび上
がった。そんな中での防災の
取り組みは、一度みんな足
を止めて自分たちにとって大
切なものを改めて考え、話し
合い、コミュニケーションを促
すために、新たな気付きをも



去る3月10日、春というに
はまだ早い小雨交じりの寒い
日に、NPO奈良よつば福祉
友の会第10期総会がもたれま

3/10

NPO奈良よつば福祉友の会 第10期総会
地道な宣伝で足元から
もう一度固めていきたい

した。今回は正会員、オブザー
バーとで20人ほどの出席者を
迎え、前期の報告、今期の目
標などの発表を行いました。
2017年に利用者数が急
激に増え、目標達成したのに
反して、2018年は残念な
ことに利用者が亡くなられた
り骨折のための長期入院、ま
た施設への入所などが相次
ぎ、昨年に比べ大幅に減少し
た数値となりました。それぞ
れの身体状況や、ご家庭の
問題ですので、私たちにほ
うしようもないことではあり
ますが、ここで介護を続けて
いくなら、新規の利用者を増
やすしかありません。
今年に入って新たなパンフ
レットを作り、近隣やケアマ
ネの事業所に宣伝をしていま
す。地道な作業ですが、足元
からもう一度固めていくつも
りで、スタッフ一同頑張っ
ています。
皆さまからもいろいろなア
イデアや、ご意見もいただき、
大いに力づけられた有意義な
一日でした。(林原礼子)



この風景は当たり前前に存在するもの
ではないのだ



田んぼに水が張り、もうすぐ田植えが始
まる。水面に青々とした山と空、夕日がキラ
キラと輝く。成長した稲が風になびく。
秋になると黄金の波になり、収穫を迎える。
四季の移ろいを身近に感じられるこの田舎
の風景が私はとても好きです。

私の地元も田舎ですが、この風景が当
たり前に存在するものではないのだと実感し
たのは、能勢農場で働き出してからのこと。
農家さんが田畑を耕し野菜を育て、あぜの草刈をしてくれているからこそ、保たれて
いた風景なのだと知りました。実際に自分も畑作業をするなかで維持の大変さも実感
しました。

能勢でも少子高齢化が進み、なくなき畑を手放す農家さんも出てきています。こ
のままでは耕作放棄地が増えてしまいます。そんな中、能勢に新規就農した若手農
家さんたちの話を聞く機会があり、皆さん口を揃えて、この能勢の風景を守っていき
たい、そのためには田畑を広げ、農業をがんばっていききたいのだ、と言われていました。

能勢農場で食べている野菜は主に北摂協同農場や地元農家さんが収穫した野菜。
「これは〇〇さんが作った野菜。おいしいね」というのが日常的に会話に出てきます。
新鮮なのでおいしいのはもちろんのこと、作った人が目の前にいる、顔が思い浮かぶ
ということが大切だとつくづく思います。そして、自分でも少し耕してみることに
挑戦してみます。私一人では三日坊主になりそうなので仲間を集い、藍と綿を育て
みることにしました。それが風景を守ることにしようから。

(能勢農場 高橋 明子)

《共同利用・相互協力をつよめよう》

《買う人が売る人に、売る人が買う人に》

《販売ルート相互紹介で事業の拡大を》

経営のお役立ち情報
経営センターだより
経営相談 経理入力 給与計算 年末調整
経理講習会 など ●お気軽にお電話ください
㈱商工経営センター
豊中市上野東3-18-15-2F
☎(06) 6846-9700 FAX 06-6846-2175

組合員企業の**職員車検割引**好評実施中!!
見積もり無料!!
車のことなら何でも気軽にご相談、お電話ください!!
**北大阪商工組合の
車屋さん**
(株)協同自動車 箕面市今宮3-17-2
☎(072) 729-2180 FAX (072) 728-2866

安倍晋三の暴走を許すな!!
一緒に働きませんか
パートさん大募集!!
☎ 0771-27-3675
STOP!
(株)安全食品流通センター・自然館